



2018年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年7月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

2018年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	73,148	3.4	7,801	11.3	8,299	11.5	5,998	8.9
2017年12月期第2四半期	70,743	5.8	8,793	20.9	9,381	23.6	6,584	33.1

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 3,807百万円 (52.3%) 2017年12月期第2四半期 7,974百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	45.57	
2017年12月期第2四半期	50.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	238,322	189,420	77.5
2017年12月期	239,338	187,487	76.3

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 184,615百万円 2017年12月期 182,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期		13.00		13.00	26.00
2018年12月期		14.00			
2018年12月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	3.0	17,500	0.3	18,200	1.6	13,000	0.7	98.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期2Q	131,996,299 株	2017年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2018年12月期2Q	364,238 株	2017年12月期	361,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期2Q	131,633,379 株	2017年12月期2Q	131,641,470 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2018年1月1日から2018年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善、設備投資の増加などから景気は緩やかに回復いたしました。世界経済は、米国経済は好調を維持しアジア地域の経済も堅調に推移いたしました。一方、米国に端を発する貿易戦争の影響が懸念されるなど先行きに対する不確実性が増しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、緩やかに回復する国内景気を背景に汎用製品の需要は底堅く推移するとともに半導体をはじめとしたエレクトロニクス関連製品の需要も好調でしたが、原油価格の高騰に伴う原燃料費や物流費などのコスト上昇が利益を圧迫する要因となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は731億4千8百万円（前年同期比3.4%増収）、営業利益は78億1百万円（前年同期比11.3%減益）、経常利益は82億9千9百万円（前年同期比11.5%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億9千8百万円（前年同期比8.9%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基幹化学品事業

電解製品は、販売数量が堅調に推移したことに加えカセイソーダの値上げが寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、原燃料価格の上昇に伴い販売価格の是正を進めたことなどから増収となりました。工業用ガスは、好調な需要に支えられ増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は338億8千7百万円（前年同期比3.7%増収）となりました。

営業利益は、カセイソーダや工業用ガスは増益となりましたが、アクリルモノマー製品がシンガポール子会社での減販や国内における大型定修の影響などから減益となり、27億9百万円（前年同期比9.3%減益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、化粧品原料や粘着剤などに使用される高付加価値製品の販売が拡大し増収となりました。アクリルオリゴマーは、国内外の市場において販売が好調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、販売価格の是正を進めたことなどから増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は145億3千1百万円（前年同期比4.9%増収）となりました。

営業利益は、主要原料価格高騰に対する価格是正の遅れやアクリルポリマーの増産対応に伴う固定費の増加などから、17億3千1百万円（前年同期比24.8%減益）となりました。

③接着材料事業

瞬間接着剤は、コンビニエンスストア向けや工業用途向けなどの国内販売は堅調に推移しましたが、海外市場での販売減少により減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の販売は低調でしたが、車載材料向けなどの販売好調により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は58億4千9百万円（前年同期比1.5%減収）となりました。

営業利益は、高付加価値な機能性接着剤や海外市場における瞬間接着剤の減販の影響などから、12億7千万円（前年同期比9.3%減益）となりました。

④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向けの旺盛な需要が継続し液化塩化水素などの高純度製品の販売が好調に推移したことから増収となりました。無機機能材料は、機能性衣料などに使用される消臭剤の販売は堅調でしたが、無機抗菌剤の輸出が減少したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は40億2千3百万円（前年同期比6.6%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機製品の増販が寄与し、13億1千6百万円（前年同期比10.7%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、底堅い需要に支えられれば前年並みの売上となりました。建材・土木製品は、受注物件数の増加などから増収となりました。ライフサポート製品は、新製品の販売などが寄与し増収となりました。エラストマーコンパウンドは、電子機器向けの販売好調などから増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は132億5千3百万円（前年同期比3.2%増収）となりました。

営業利益は、ライフサポート製品や建材・土木製品は増益となりましたが、管工機材製品の原料費や物流費が上昇する一方、製品価格への転嫁が遅れたことなどから、6億7千3百万円（前年同期比14.9%減益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は16億2百万円（前年同期比3.4%減収）、営業利益は9千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

資産合計は、株価の下落に伴い「投資有価証券」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ10億1千5百万円、0.4%減少し、2,383億2千2百万円となりました。

負債合計は、設備未払金の減少により流動負債の「その他」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ29億4千8百万円、5.7%減少し、489億1百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ19億3千2百万円、1.0%増加し、1,894億2千万円となり、自己資本比率は77.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は減少しましたものの、たな卸資産および法人税等の支払額が減少しましたため、前年同期に比べ収入が46億7百万円増加し、141億7千6百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加しましたものの、預入期間が3か月を超える運用が増加しなかったため、前年同期に比べ支出が1億5千8百万円減少し、69億8千8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、連結子会社の株式取得および長期借入金の返済による支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が9億1千9百万円増加し、29億5千9百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は462億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間の業績は、緩やかに回復する国内景気を背景に汎用製品やエレクトロニクス関連製品の需要が堅調に推移し、また一部製品の値上げが進展したことなどから、増収となりました。一方、原燃料価格の上昇に伴う変動費や物流費の上昇、また当社グループの積極的な設備投資や設備更新に伴う固定費の増加などが利益を圧迫し、営業利益は減益となりました。

当期後半につきましては、国内景気は引き続き回復基調が継続すると期待されますが、米国を起点とする貿易戦争の激化や金融資本市場変動の影響が懸念されます。

このような状況の中、原燃料価格や物流費などのコスト上昇については、省力化や合理化努力を強化するとともに価格是正を行うことで業績の向上を図ります。また、新規設備などについては速やかに高稼働を達成することで早期の収益貢献を実現してまいります。なお、2018年2月8日に発表いたしました2018年通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,636	34,527
受取手形及び売掛金	42,583	40,551
有価証券	47,000	46,000
たな卸資産	16,005	15,643
その他	2,083	1,972
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	137,273	138,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,579	18,621
機械装置及び運搬具（純額）	20,762	19,444
土地	17,210	17,226
その他（純額）	6,110	7,431
有形固定資産合計	62,663	62,723
無形固定資産		
	505	585
投資その他の資産		
投資有価証券	35,238	32,304
退職給付に係る資産	1,934	2,095
その他	1,738	1,968
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	38,896	36,354
固定資産合計	102,064	99,664
資産合計	239,338	238,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,149	14,091
短期借入金	6,503	2,502
未払法人税等	2,124	2,339
引当金	17	21
その他	13,238	12,182
流動負債合計	37,032	31,138
固定負債		
長期借入金	5,647	9,268
退職給付に係る負債	162	166
その他	9,008	8,329
固定負債合計	14,818	17,763
負債合計	51,850	48,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,498	16,499
利益剰余金	130,488	134,775
自己株式	△289	△293
株主資本合計	167,584	171,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,082	11,025
為替換算調整勘定	1,884	1,627
退職給付に係る調整累計額	73	94
その他の包括利益累計額合計	15,040	12,747
非支配株主持分	4,862	4,805
純資産合計	187,487	189,420
負債純資産合計	239,338	238,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
売上高	70,743	73,148
売上原価	49,690	52,732
売上総利益	21,052	20,415
販売費及び一般管理費	12,259	12,614
営業利益	8,793	7,801
営業外収益		
受取利息	37	40
受取配当金	443	425
持分法による投資利益	208	141
固定資産賃貸料	48	131
その他	104	82
営業外収益合計	842	820
営業外費用		
支払利息	48	46
為替差損	89	153
環境整備費	53	57
遊休設備費	34	32
その他	27	32
営業外費用合計	253	322
経常利益	9,381	8,299
特別利益		
補助金収入	35	323
固定資産売却益	369	5
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	412	329
特別損失		
固定資産処分損	184	50
特別損失合計	184	50
税金等調整前四半期純利益	9,609	8,578
法人税等	2,836	2,445
四半期純利益	6,772	6,132
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,584	5,998

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	6,772	6,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,360	△2,058
為替換算調整勘定	△209	△287
退職給付に係る調整額	50	20
その他の包括利益合計	1,201	△2,325
四半期包括利益	7,974	3,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,788	3,704
非支配株主に係る四半期包括利益	186	102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,609	8,578
減価償却費	3,952	3,874
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	1
その他の引当金の増減額(△は減少)	6	4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△159	△131
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	4
受取利息及び受取配当金	△480	△465
支払利息	48	46
為替差損益(△は益)	65	133
持分法による投資損益(△は益)	△208	△141
固定資産売却損益(△は益)	△369	△5
補助金収入	△35	△323
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
固定資産処分損益(△は益)	184	50
売上債権の増減額(△は増加)	585	1,964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,259	296
仕入債務の増減額(△は減少)	689	△1,015
その他	725	2,339
小計	13,351	15,211
利息及び配当金の受取額	680	594
利息の支払額	△54	△53
補助金の受取額	35	323
法人税等の支払額	△4,444	△1,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,568	14,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△3,094	152
投資有価証券の取得による支出	△1,010	△4
投資有価証券の売却による収入	25	—
有形固定資産の取得による支出	△2,965	△6,609
有形固定資産の売却による収入	336	18
その他	△438	△545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,147	△6,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,700
長期借入金の返済による支出	△79	△4,079
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△679
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△5	△3
リース債務の返済による支出	△32	△26
配当金の支払額	△1,709	△1,711
非支配株主への配当金の支払額	△214	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,039	△2,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△108	△127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	272	4,100
現金及び現金同等物の期首残高	54,231	42,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,504	46,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,684	13,850	5,938	3,773	12,838	69,085	1,658	70,743	—	70,743
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,770	575	259	20	3	2,629	3,516	6,145	△6,145	—
計	34,455	14,425	6,197	3,793	12,842	71,714	5,175	76,889	△6,145	70,743
セグメント利益	2,985	2,302	1,400	1,188	791	8,669	120	8,790	2	8,793

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	33,887	14,531	5,849	4,023	13,253	71,546	1,602	73,148	—	73,148
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,033	579	128	22	10	2,773	2,330	5,104	△5,104	—
計	35,921	15,110	5,977	4,045	13,264	74,320	3,932	78,252	△5,104	73,148
セグメント利益	2,709	1,731	1,270	1,316	673	7,700	95	7,796	5	7,801

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。